



はちもり

校訓：海のように 波のように 岩のように

令和5年5月12日(金)

第6号 文責：安部 晃幸

八峰町立八森小学校

目指す子ども像

- ①よさを伸ばし合う子ども
- ②つながりを大切にする子ども
- ③自らとふるさとを拓く子ども

明後日、天気になあれ!!



全校でのマスゲーム練習

運動会がいよいよ明後日に迫りました。この数週間、運動会に向けて短期集中で練習や準備に励んできました。あとは明後日、天気がよくなることを願うばかりです。ご家族やご近所の皆さんとお誘い合わせの上、ぜひ児童のがんばりに応援をお願いします。

運動会2023 競技日程 5月14日(日)

- 8:50 入場行進&開会式
- 9:20 100m走(3→4→5→2→1→6年)
- 9:50 色別応援合戦
- 10:10 色別対抗玉入れ(1・2年)
- 10:25 色別対抗つなひき(1~6年)
- 10:55 マスゲーム
- 11:05 自由種目(4→2→5→3→1→6年)
- 11:45 色別対抗全員リレー(女子→男子)
- 12:00 閉会式
- ※後片付け後、解散 12:30

競技開始等時刻は、多少前後する場合があります

ご協力ありがとうございました！ 5/2 PTAグラウンド整備作業

5月2日(火)、14日(日)の運動会に向けたPTAグラウンド整備作業が17時から行われました。平日にも関わらず、36名の皆様からご協力いただきました。グラウンドトラック内の雑草取りやグラウンド脇の側溝の泥あげなどを1時間ほど行いました。おかげで、気持ちよく運動会当日を迎えられます。誠にありがとうございました。



今週の1枚

退勤時刻、日本海に沈もうとしていた夕陽に目を奪われてしまいました。眼下の日本海、背後に迫る白山地。四季折々に様々な表情を見せる豊かな自然に抱かれた八森小学校は、まさに子どもたちの幸せの地と感じました。コロナ禍の三年間は、感染が殺伐としていたように、気がせき、まだ油断はできませんが、少しだけ心で余裕ができた今、何気ない日常に幸せを感じます。「当たり前」に感謝です。



【1年生】

さわやかな青空が広がる中、みんなで校庭へ出て「春」探しをしました。

授業の様子から

【2年生】

くり下がりのあるひき算の練習問題に取り組んでいます。みんな集中して問題とにらめっこです。



【3年生】

運動会の学年種目の練習です。大きな長靴に足をとられたり、ボール運びに苦戦したりしながらも必死に走っていました。

【4年生】

毛筆で「林」を書いていました。みんな「はらい」がとても上手でした。



【5年生】

お茶の入れ方について学ぶ家庭科の授業。自分たちで入れたお茶は格別なようです。



【6年生】

今まで□や○で表した変わる数を、これからはxやyで表して計算しています。積極的に手を挙げて発表している6年生。さすがです。



自分の子育てをふり返ると、確かにあまりお手伝いをさせなかったかも...と、思い当たる節もないわけではないです。今になって親としての責任を痛感しています。そんな私が言うのもおかしい話ではありますが、子どもたちは家族の一員として役割を担っています。その役割をしっかりと担わせるには、親として、それ以上の責任を担う必要があります。社会に出たときに求められる能力には、共通するものがあるはずで、将来仕事に困らない人間になるためには、そうした能力(コミュニケーション能力、判断力、洞察力など)を早いうちから身に付けなければなりません。

非常に正義感・道徳心が強く、お手伝いをしなず。その逆だったという結果が出ています。

社会に出たときに求められる能力には、共通するものがあるはずで、将来仕事に困らない人間になるためには、そうした能力(コミュニケーション能力、判断力、洞察力など)を早いうちから身に付けなければなりません。

自分の子育てをふり返ると、確かにあまりお手伝いをさせなかったかも...と、思い当たる節もないわけではないです。今になって親としての責任を痛感しています。そんな私が言うのもおかしい話ではありますが、子どもたちは家族の一員として役割を担っています。その役割をしっかりと担わせるには、親として、それ以上の責任を担う必要があります。社会に出たときに求められる能力には、共通するものがあるはずで、将来仕事に困らない人間になるためには、そうした能力(コミュニケーション能力、判断力、洞察力など)を早いうちから身に付けなければなりません。



ある会社の人事部で、「使える人材」と「使えない人材」を分けるポイントを調査したところ、「おもしろい結果が出たそうです。(ここでいう「使える人材」とは、気が利き、感謝の気持ちをもち、自ら学ぼうとする意欲の高い人のこと)両者を分けるポイントとなったのは、「子どもどきに親の手伝いをしたかどうか」ということでした。以後、この会社では、「子どものときに親の手伝いをしたことはない人間は採用してはならない」と決めたということです。

国の調査では、「お手伝いをよくする子どもは非常に正義感・道徳心が強く、お手伝いをしなず。その逆だったという結果が出ています。」

どうやら、いろいろなことに気が回る同じ年齢の同僚と自分を比べ、自己嫌悪に陥っているよう。『考え過ぎだよ』と慰めながら、私は以前、目にした記事を思い出していました。

「私って、気が利かなくて、自分自身が嫌になる...」

「ゴールデンウィーク、娘と久しぶりに会いました。働いて二年目を迎え、仕事にも慣れただろうと思いきや、開口一番、

「私って、気が利かなくて、自分自身が嫌になる...」

「私って、気が利かなくて、自分自身が嫌になる...」

つばね
お家で「お手伝い」してますか

